

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 24年 6月 12日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 豊川市白鳥町京次52番地の1
岡田建設株式会社

氏 名 代表取締役 岡田 司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0533 - 87 - 5191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岡田建設株式会社
事業場の所在地	豊川市白鳥町京次51番地の1
計画期間	平成 24年 4月 1日 から 平成 25年 3月 31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	06 総合工事業
事業の規模	350,000 (万円/年)
従業員数	107人
産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場で発生した産業廃棄物を現場内に一時保管、又は、直接処理場に運搬する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 土木部課長(廃棄物処理総括責任者) 建築部部長(産業廃棄物処理責任者) 工事現場における廃棄物の分別 工事担当長 ——— 工事担当者 マニフェストの適正管理の徹底 住宅事業部課長(産業廃棄物処理責任者) 廃棄物の搬出量の抑制 工事担当長 ——— 工事担当者 土木部工事担当長 ——— 工事担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート塊)	がれき類(アスファルト塊)
	排出量	2,115 t	2,178 t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動するのでいちがいに産業廃棄物量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート塊)	がれき類(アスファルト塊)
	排出量	2,000 t	2,000 t
	(今後実施する予定の取組) アスファルトガラ、コンクリートガラが多のでリサイクル工場に運搬して再生材として利用する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、リサイクル材として再利用できる施設に運搬する。		
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自ら行っていません。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自ら行っていません。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら行う予定はありません。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ありません。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	全処理委託量	2,115 t	2,178 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2,115 t	2,178 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） アスファルトガラ・コンクリートガラ等は、再生材として再利用する業者に処理を委託する。		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート塊）	がれき類（アスファルト塊）
	全処理委託量	2,000 t	2,000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	2,000 t	2,000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>（今後実施する予定の取組） アスファルトガラ・コンクリートガラ等は、再生材として再利用する業者に処理を委託する。</p>		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別紙(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	排出量	283t	22t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	排出量	200t	20t
	(今後実施する予定の取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、分別を行い再生材として再利用できる施設に運搬する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。		

別紙(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。			

別紙(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	全処理委託量	283t	22t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	283t	22t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 特に行っていません。			

別紙(第5面)

①現状	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(塩ビ管)	金属くず(鉄くず)
	全処理委託量	200t	20t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	200t	20t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		
※事務処理欄			

別紙(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	排出量	141t	758t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	排出量	100t	700t
	(今後実施する予定の取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、分別を行い再生材として再利用できる施設に運搬する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。		

別紙(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。			

別紙(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	全処理委託量	141t	758t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	758t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 特に行っていません。			

別紙(第5面)

①現状	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(安定型品目)	木くず(生木)
	全処理委託量	100t	700t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	700t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		
※事務処理欄			

別紙(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	排出量	258t	178t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	排出量	200t	100t
	(今後実施する予定の取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、分別を行い再生材として再利用できる施設に運搬する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。		

別紙(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		

別紙(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	全処理委託量	258t	178t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	178t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 特に行っていません。			

別紙(第5面)

①現状	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	紙くず
	全 処 理 委 託 量	200t	100t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者 への処理委託量	0t	100t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者 以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		
※事務処理欄			

別紙(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	533t	414t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	500t	400t
	(今後実施する予定の取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、分別を行い再生材として再利用できる施設に運搬する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。		

別紙(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。			

別紙(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	全処理委託量	533t	414t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
(これまでに実施した取組) 特に行っていません。			

別紙(第5面)

①現状	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	全 処 理 委 託 量	500t	400t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者 への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者 以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		
※事務処理欄			

別紙(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物
	排出量	49t
	(これまでに実施した取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物
	排出量	10t
	(今後実施する予定の取組) 公共工事が多いので工事により産業廃棄物の量の変動があるのでいちがいに産業廃棄物の量を減らすのが難しいので再生材として利用できるものは出来るだけリサイクル工場に運搬する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトガラ・コンクリートガラ・鉄・木材・紙くず・廃プラについては、分別を行い再生材として再利用できる施設に運搬する。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事については、ほぼ100%再生材として再利用するが、建築・住宅工事については、分別の徹底を行い混合物の減少に努める。	

別紙(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	
(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	
	自ら中間処理により減少した産業廃棄物の量	0t	
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。			

別紙(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成22年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	
	(これまでに実施した取組) 自ら行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	全処理委託量	49t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	
	再生利用業者への処理委託量	0t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		

別紙(第5面)

①現状	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿管有廃棄物	
	全処理委託量	10t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	
	再生利用業者への処理委託量	0t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	
	(これまでに実施した取組) 特に行っていません。		
※事務処理欄			